目次

1. 3Dケースデータのファイルの種類
2. ケース系統

1. 3Dケースデータのファイルの種類

ファイルの種類として以下の3種類を提供する。

(1) パーツファイル （.prt）

パーツ単位の3Dデータ。3Dモデリングソフトに読み込ませることで、モデルの編 集が可能。

(2) アセンブリファイル （.asm）

複数のパーツを組み合わせ、アセンブリ(組み立て)した3Dデータ。3Dモデリングソフトに 読み込ませることで、パーツの組立の編集が可能。ただし、構成しているパーツのデータ　(パーツファイル)が必要。

(3) ステレオリソグラフィーファイル （.stl）

3Dプリンターが読み込み可能なデータ形式。3Dモデリングソフトに読み込ませることも可能であるが、パーツファイルと違い編集することは不可。また、モデルを削ることも不可。付け足すことは可能。

2. ケース系統

SenStick2利用者が一からケース作製をする負荷を軽減するために、表1に示す3系統のベースケースを提供する。基本的に利用者は何れかのベースケースを改良して任意の形状を作製することを推奨する。なお、300系統はSenStick2に配線の改良が必要。

表1：SenStick2のケース系統

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 系統番号 | 名称 | 外観図 | 備考 |
| 100 | Basic |  | なし |
| 200 | Flat |  | なし |
| 300 | Super Flat |  | SenStick2に配線改良必要 |

以上

作成者：金平卓也

作成日：2016/08/09

バージョン：1.00